

視聴覚教育

NO. 365

発行日

22. 9. 17

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

視聴覚用語

『ストリーミング』

インターネットなどのネットワークを通じて映像や音声などのデータを視聴する際に、データを受信しながらリアルタイムに再生を行う方式。ストリーミング方式の再生ソフトにより、低速な回線でもスムーズな再生が可能となった。

【社会教育部門】

●文部科学大臣賞(最優秀賞)

「ヒメハルゼミ―山中八幡宮に残された

生き化石―」

岡崎市自作教材制作委員会D班

山中八幡宮は、社叢が自然

環境保全地域に指定されてい

る。そこに、愛知県でも数か

所でしか確認されていないヒ

メハルゼミが生息している。

体長は3cmに満たないほど小

さく、しかも巨木の先端部に

止まっているため、その姿を確認することは大

変難しい。そのセミの羽化の様子や、社叢林に

すむ多様な生物の様子を通して、地域に残る自

然環境を守っていくことの大切さを伝える作品

である。(一般・学校教育 13分)



平成22年度全国自作視聴覚教材コンクール

文部科学大臣賞を岡崎市の2作品が受賞

平成22年度全国自作視聴覚教材コンクール(主催(財)日本視聴覚教育協会)において、

本市から出品した自作視聴覚教材のうち、2作品が文部科学大臣賞(最優秀賞)を受賞し、2作品が入賞しました。

【中学校部門】

●文部科学大臣賞(最優秀賞)

「甦る手描き幟―伝統を作り出す若者たち―」

岡崎市自作教材制作委員会B班

全国有数の鯉のぼりの生

産量を誇る明治37年創業の工場が、岡崎市にある。時

代の流れに合わせて、ナイ

ロン製や耐久撥水加工など

の技術革新を進めた結果で

ある。その工場が、一度は

絶えた「手描き幟」を復活

させた。伝統を守る身近な



●優秀賞

「伝統の技を守る―三河仏壇の挑戦

アートマン・ジャパン―」

岡崎市自作教材制作委員会A班

三河仏壇の起源は江戸時代

中期といわれ、職人たちは、

代々受け継がれる技を習得し

今日に至っている。しかし、

年々生産数は減少し、後継者

になろうとする人材も不足し

ている。その中で、伝統の技

術を仏壇以外に転用し、様々

な作品をプロデュースするこ

とで、技術を受け継いでいこうとする「アート

マン・ジャパン」の活動に焦点を当てた作品で

ある。(中2社会 11分)



【社会教育部門】

●文部科学大臣賞(最優秀賞)

「ヒメハルゼミ―山中八幡宮に残された

生き化石―」

岡崎市自作教材制作委員会D班

山中八幡宮は、社叢が自然

環境保全地域に指定されてい

る。そこに、愛知県でも数か

所でしか確認されていないヒ

メハルゼミが生息している。

体長は3cmに満たないほど小

さく、しかも巨木の先端部に

止まっているため、その姿を確認することは大

変難しい。そのセミの羽化の様子や、社叢林に

すむ多様な生物の様子を通して、地域に残る自

然環境を守っていくことの大切さを伝える作品

である。(一般・学校教育 13分)



●入選

「しんせんでおいしいたまご作り」

岡崎市自作教材制作委員会C班

おいしい鶏卵を生産するために、

飼料を開発し、流通スタイルの変

革を行った商店がある。安全な卵

を販売するために、こだわりのえ

さを与え、毎日卵を集荷する生産

者の姿勢を通して、食料生産の工夫や努力を伝

える作品である。(小5社会 13分)



実践報告Ⅱ

「子どもが目を輝かせるデジタルコンテンツ」

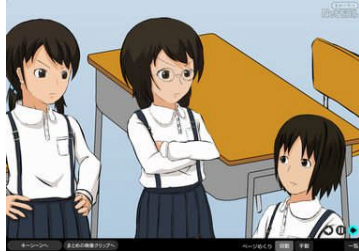
竜美丘小学校 伊豫田美奈子

OKリンク（岡崎教育ネットワーク総合リンク）のHP（ホームページ）にある「Netモラル」に掲載されているネットいじめのクリップをもとに、小学校六年生の道徳の授業「ネットいじめは絶対やめよう」を行った。読み物資料を用いた道徳の授業と違い、映像クリップを視聴することで、子供たちの興味は一気に物語に引き込まれていった。「わいわいリーダー」を用いて、登場人物の気持ちを考えた。リアルタイムで友達の気持ちや意見を知り、掲示板を体感することで、登場人物の気持ちに踏み込むことができた。

指導案や映像クリップを利用して、子供たちが興味を持って学習課題を考える授業を行うことができた。

OKリンクのHPには、様々な動画や資料が掲載されている。道徳の映像クリップ以外にも、理科の実験の動画や、社会の歴史の資料動画もあり、授業で活用している。動画を見せるたびに、子供たちは新しい発見をして、目を輝かせて見ている。

今後も、デジタルコンテンツを効果的に授業に取り入れ、子供たちが興味を持って取り組める授業を行えるように研究していきたい。



Ⅱレッツ・トライⅡ

フリーソフトの効果的な活用「ZOOM IT」

各教室に大画面ディスプレイが設置され、本校でも各教科の授業で積極的に使われている。本校で、よく見かける使い方が、授業の導入で写真などの教材を提示する場面である。こうした資料を提示するときに、その後の授業のポイントとなる箇所を拡大したり、印を付けたりして、全員に注目させたいことがよくある。しかし、教室のディスプレイでは「拡大・書き込み」といった操作を手軽に行う方法がなかなか見当たらない。そこで有効に使えるのが、フリーソフトの「ZOOM IT」（ズームイット）である。このソフトにより、パソコン上の画面に線を引きたり、見せたい部分を拡大して提示したりするといったことが簡単に行える。

社会科公民の授業では、ある商品の値段をスーパーマーケットと、コンビニエンスストアで比較する授業を行った。売り場の写真を提示しただけでは、なかなか値段まで見えないが、この拡大機能を使うことで、分かりやすく提示をすることができた。パソコンからこうした操作が簡単にでき、授業で効果的に使用することができる便利なソフトである。



見せたいところを拡大

（甲山中学校 学習情報主任 村田貴志）

ライブフリーだよ

●アジア国際子ども映画祭

IN いぶすき 作品募集

この映画祭は、子供がホームビデオを使って映像作品を作り、その映像を通して自らの思いを伝える全国的なコンクールです。技術を競うのではなく、メッセージ性を重視したコンクールです。ぜひ学校や家庭でお取り組みください。

◆作品のテーマ 家族（友達・ペットなど広くとらえてよい。）

◆応募規定 ホームビデオで撮影した3分以内の作品で、1作者（1団体）につき1点のみ

◆申し込み 中部ブロック大会（9月30日締切）
関市教育委員会まなびセンター内

◆問い合わせ

アジア国際子ども映画祭実行委員会

<http://www.ibusuki-movie.com/>

●デジタルコンテンツをご利用ください

視聴覚ライブラリーでは、収蔵されている資料映像を各学校や社会教育団体等で使いやすいように、DVD化を進めています。DVDにダビングすることができ、所定の用紙に記入して、視聴覚ライブラリーまでFAXでお申し込みください。なお、ダビングには空のDVDが必要ですので、ダビング希望枚数分だけ、視聴覚ライブラリーに送ってください。

※申し込み用紙については、各校の学習情報主任の先生にメールで送付してあります。